

まちの話題



2 / 3 冬の災害に備えよう

「冬季避難所宿泊体験訓練」が行われ、日帰り18人、宿泊13人が参加しました。まず音更消防署から共栄中学校体育館まで歩いて避難し、班ごとに分かれて防災グッズ作りや感染症予防の正しい手洗い方法などを学びました。その後は災害食のスープを作り、アルファ化米の五目ご飯と一緒に試食。宿泊者は段ボールベッド作成なども行いました。非常時に役立つ訓練の数々に、皆さん真剣なまなざしで参加していました。



1 / 30 消防団の活動に支援を

「消防団応援の店」の第1回目登録証交付式が音更消防署で行われました。消防団員は登録した事業所からサービスや割引などが受けられます。今回は町内の7事業所が登録。今後も音更消防団と消防署は、登録を呼びかけていきます。



2 / 5 できることから始めよう

帯広大谷短期大学で「男女共同参画まちづくり講演会」が開かれました。講師は育児関連会社社長の阿部夕子さん。仕事でも家族間でも、自分が行うことを「見える化」して共有し、できることから始めることが大事だと教えていただきました。



1 / 26 家庭でできる
パン作り

ふれあい交流館で「音更町産小麦で作るパン作り教室」が開かれ、12人が参加しました。講師は町内で手ごねパン教室を開く天野雅美さん。作ったのは「豆パン」と「長芋の惣菜パン」。参加者は生地のコね方など説明を熱心に聞きながら、パン作りを楽しんでいました。



2 / 9 だましを知っ
て詐欺を防ぐ

共栄コミセンで「くらしのサロン」が開かれ、日本奇術連盟顧問の坂本和昭さんが講演しました。「真剣になっていたり、相手の気持ちを先回りするとだまされやすい。頭を柔軟にすることがだまされないポイント」とマジックを交えながら参加者に呼びかけました。



1 / 17 ねらい通りに止まれ

女性ライフスクール「フロアカーリング」がサンドームおとふけで行われました。フロアカーリングとは、室内でできる車輪のついたカーリングです。皆さん「回転がかかって難しい」と苦労しながらも、笑顔で楽しんでいました。



2 / 10 重いけど楽しい！

こども体験隊「郷土芸能・十勝駒踊りを体験しよう」が生涯学習センターで開かれました。十勝駒踊りは町指定文化財の1つです。参加した15人は同保存会会員の指導を受けながら、重さ約4キロの馬の衣装を身につけて練習しました。